

参考資料

【参考資料①】 第2回学校施設検討部会における意見のまとめ

テーマ：新しい学校施設や小中連携教育において必要な取り組み・設備

ハード面

- ・ バリアフリー
- ・ 先生の休憩スペース
- ・ 巣鴨小へオンライン設備の充実

ソフト面

- ・ イベント等での交流
- ・ 対面での交流機会の積極的な創出
- ・ 中学校を見据えた小学校高学年からの交流の強化
- ・ 小中合同で取り組む授業展開
- ・ 小中合同活動を保護者が見れる機会の創出

その他

- ・ 既存にとらわれない施設づくり
- ・ 各学校の指導方針の確認
- ・ 西巣鴨中学校の場所が変更することによる巣鴨小学校区への対応
- ・ 【朋有小/西巣鴨中】 スポーツ面に充実した教育環境を提供
- ・ 【巣鴨小】 文化面に充実した教育環境を提供
- 場所によって子どもたちが施設を行き来する仕組み
- ・ 3校で同じ給食を食べる

【参考資料②】 連携教育に必要な空間・設備

(第2回学校施設検討部会の意見をもとにした案)

【朋有小・西巣鴨中】



- ・スポーツ面において充実した教育環境を提供
(例) 多目的で使用可能な空間の充実

【巣鴨小】



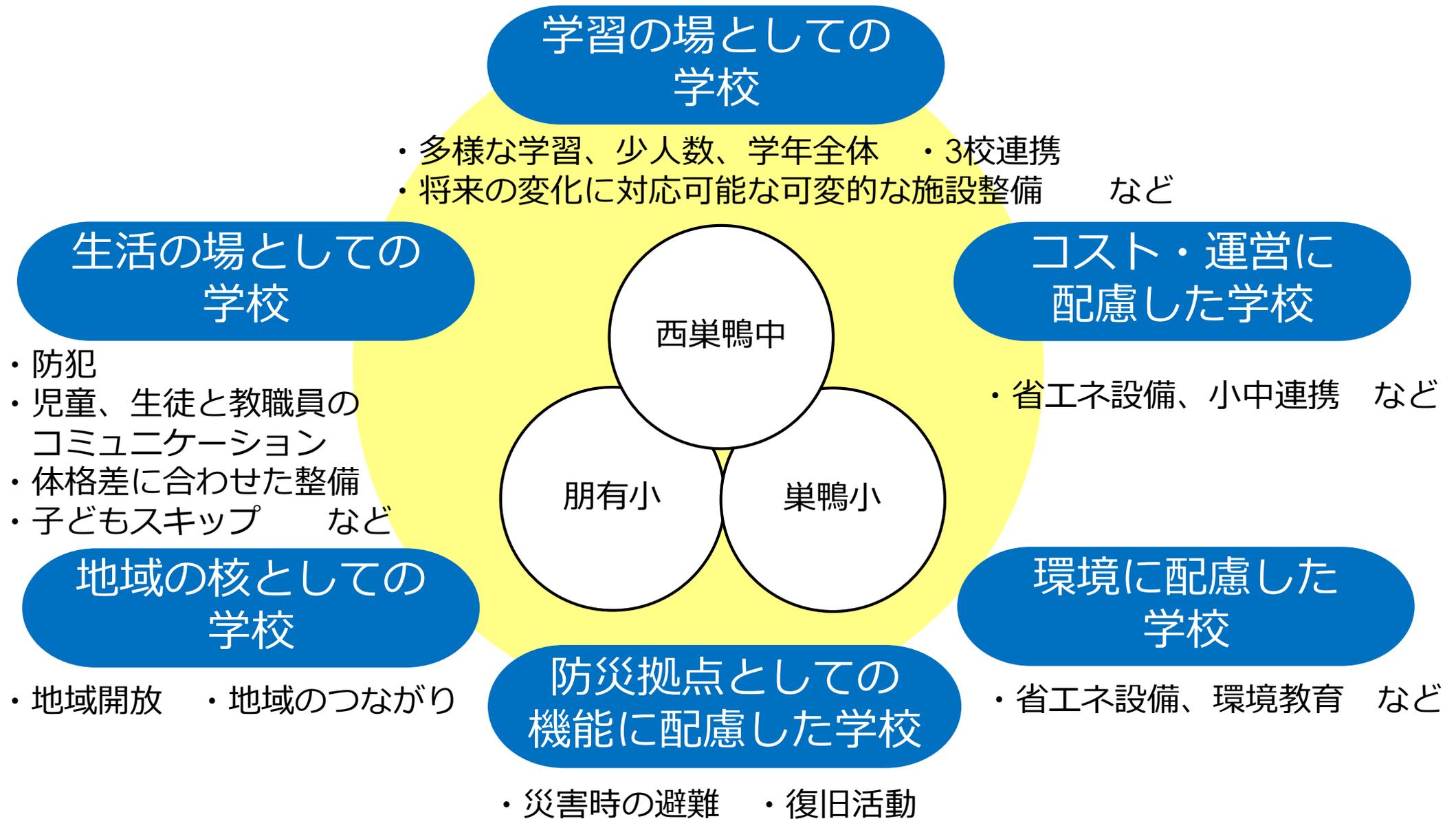
- ・文化面において充実した教育環境を提供
(例) 特別教室の改修や展示スペースの設置

子どもたちが施設を
行き来する仕組み

オンラインでの連携

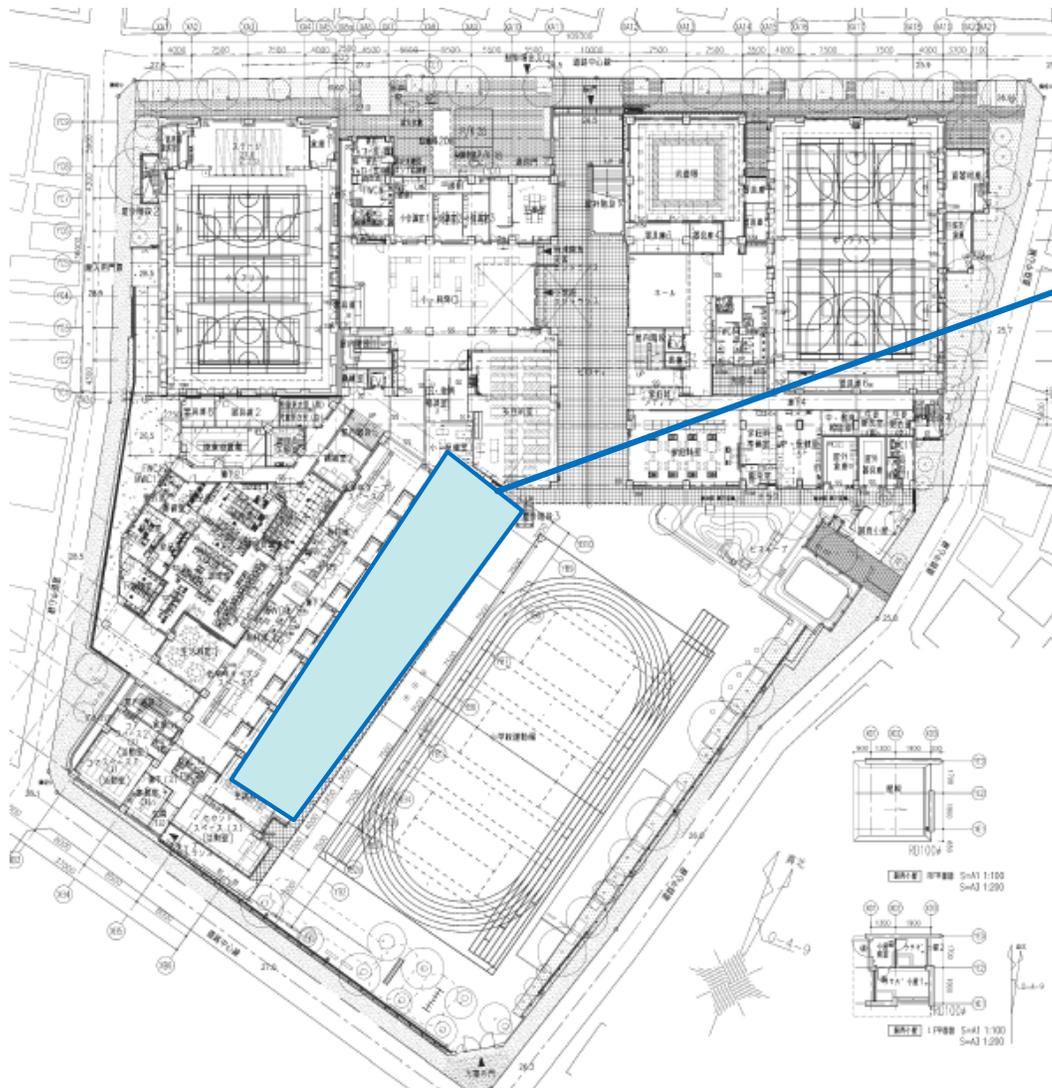
※写真は一例です

【参考資料③】 学校改築における豊島区の学校施設の考え方



【参考資料④】 池袋本町小学校・池袋中学校の見学会

＜普通教室（小学校）＞

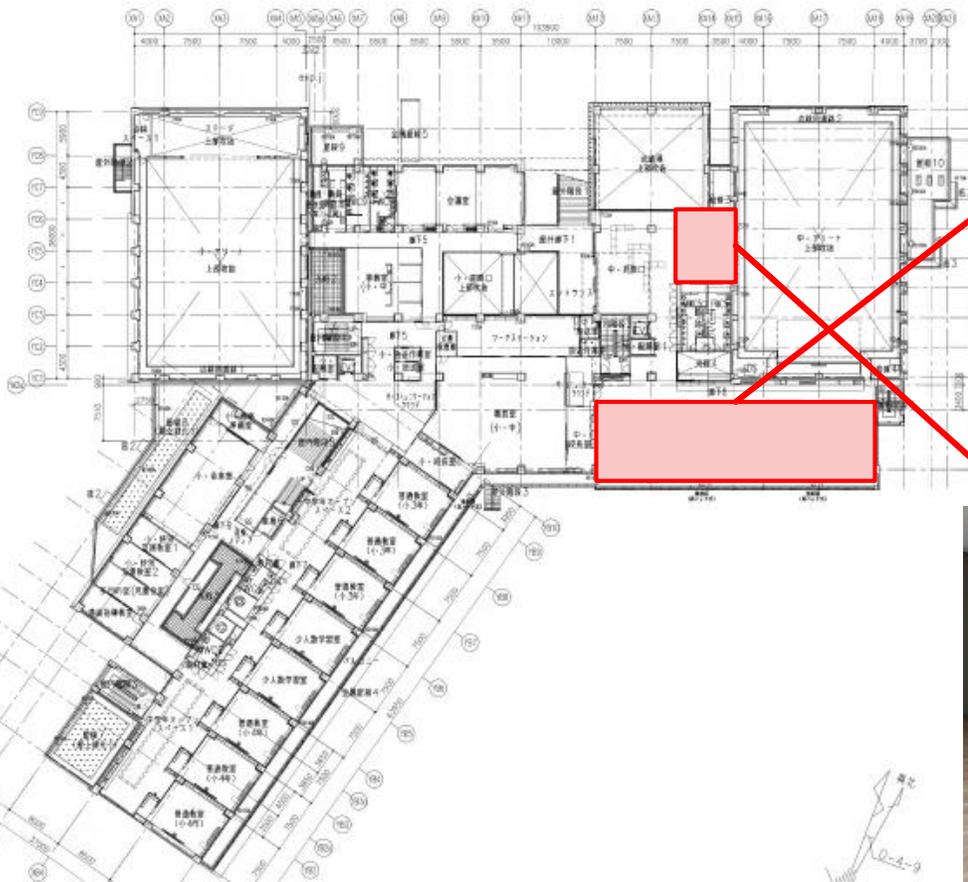


校庭から直接教室へ
(低学年のみ)

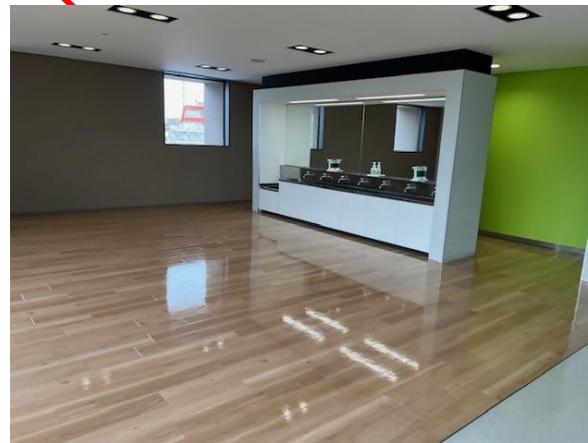


小学校オープンスペース
(教室の建具が可動間仕切のため
つなげることも可)

<普通教室（中学校）>



学年ラウンジ
→学年集会など



教室前スペース（知の交換）
→コミュニケーションの場

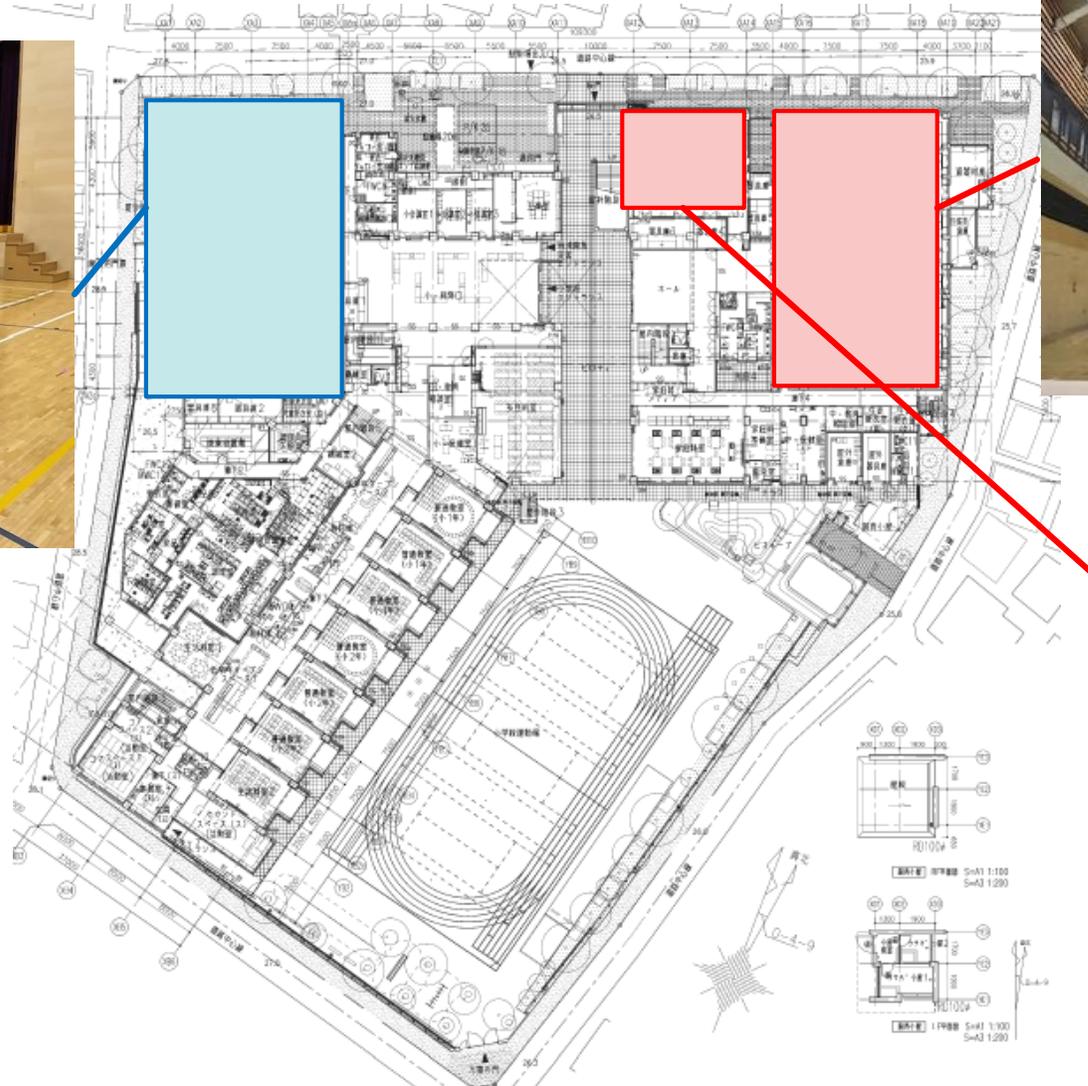
<体育館>



小学校体育館
(小学校には舞台あり)



中学校が使うこともあり



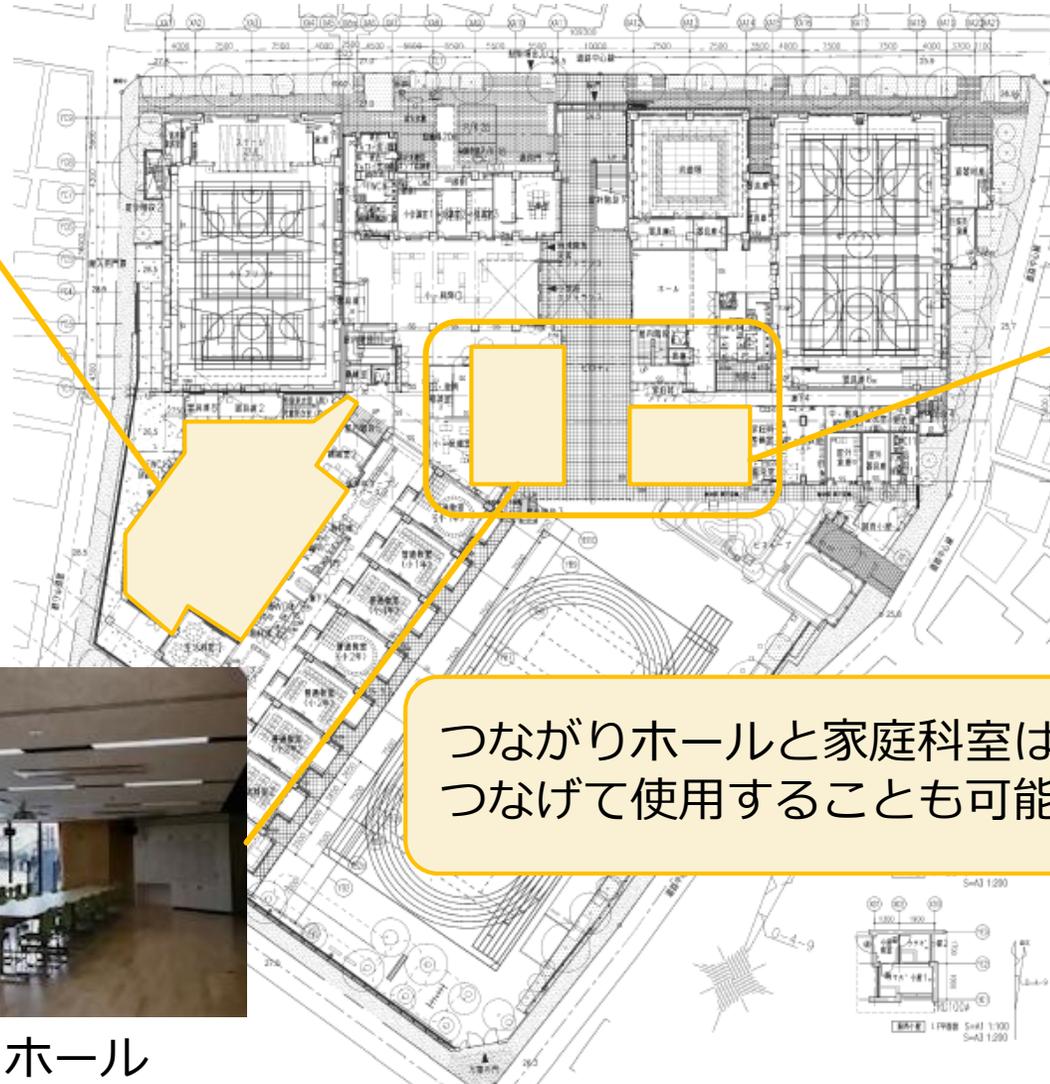
中学校体育館
(中学校には収納式舞台あり)



武道場 (木材使用)

<共用部（家庭科室・つながりホール・給食室）>

給食室

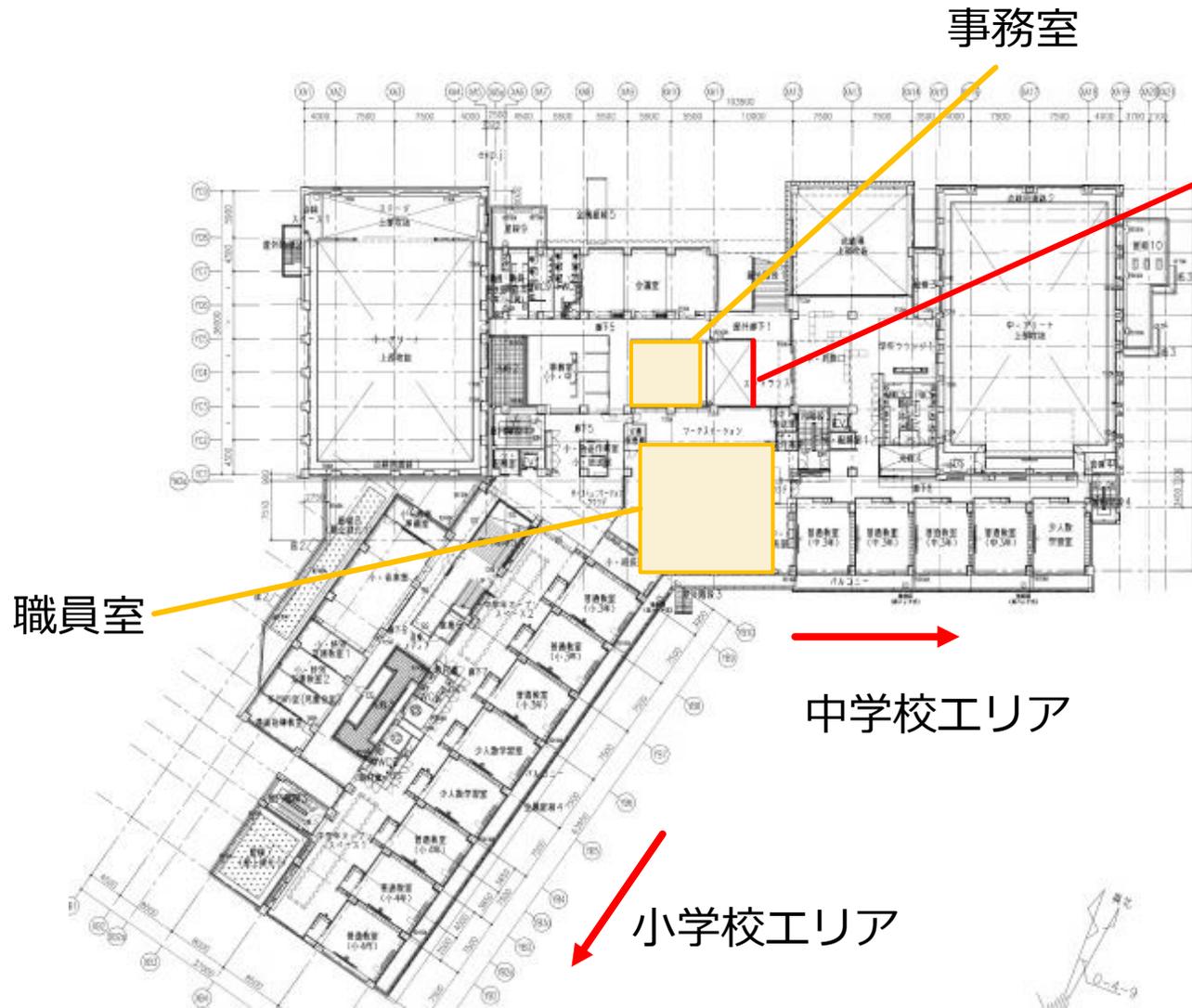


家庭科室



つながりホール

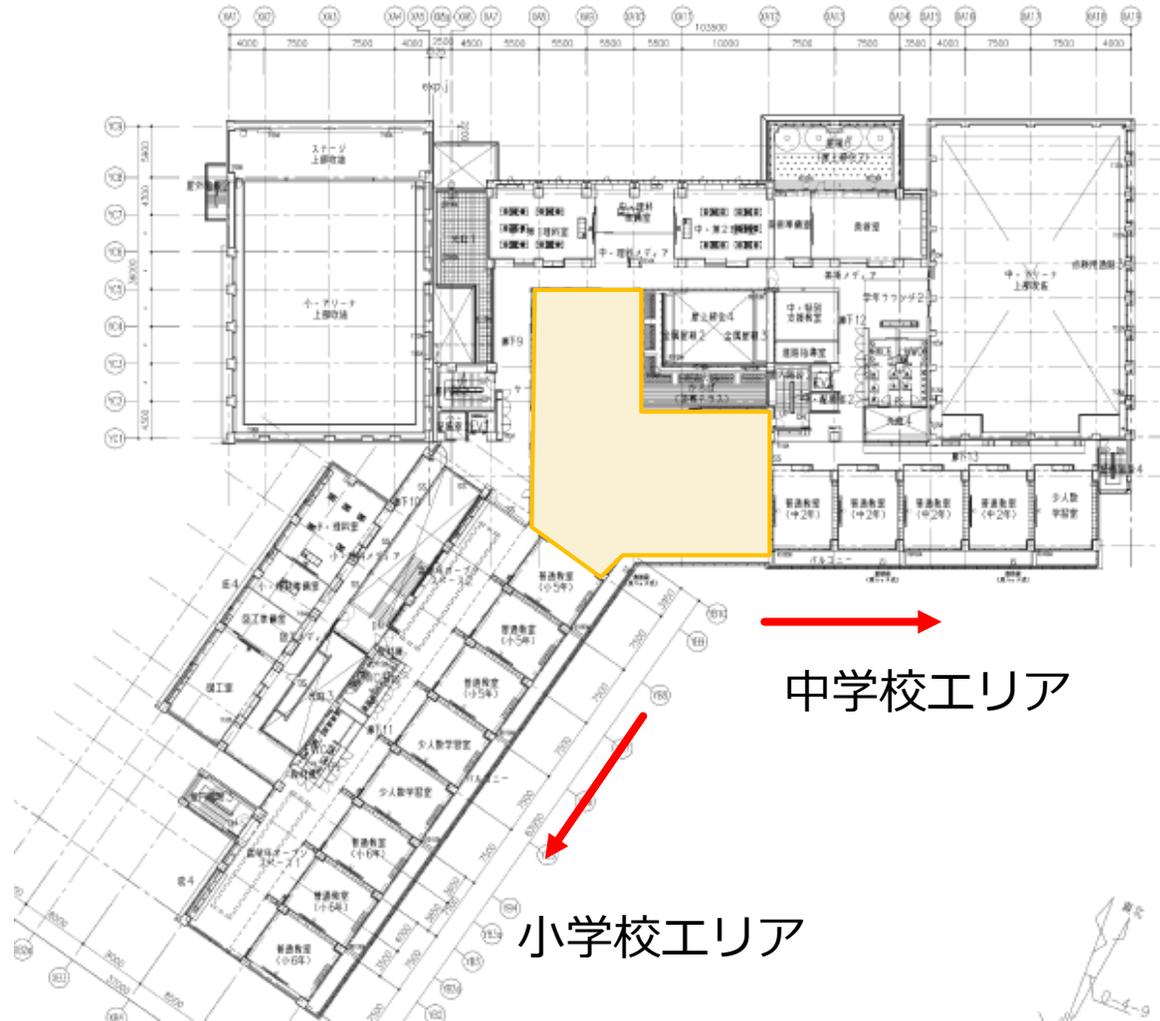
<共用部（職員室・その他管理諸室）>



【小中連携シンボル】
池袋本町小学校・池袋中学校・池袋第一小学校
それぞれの学校の校章

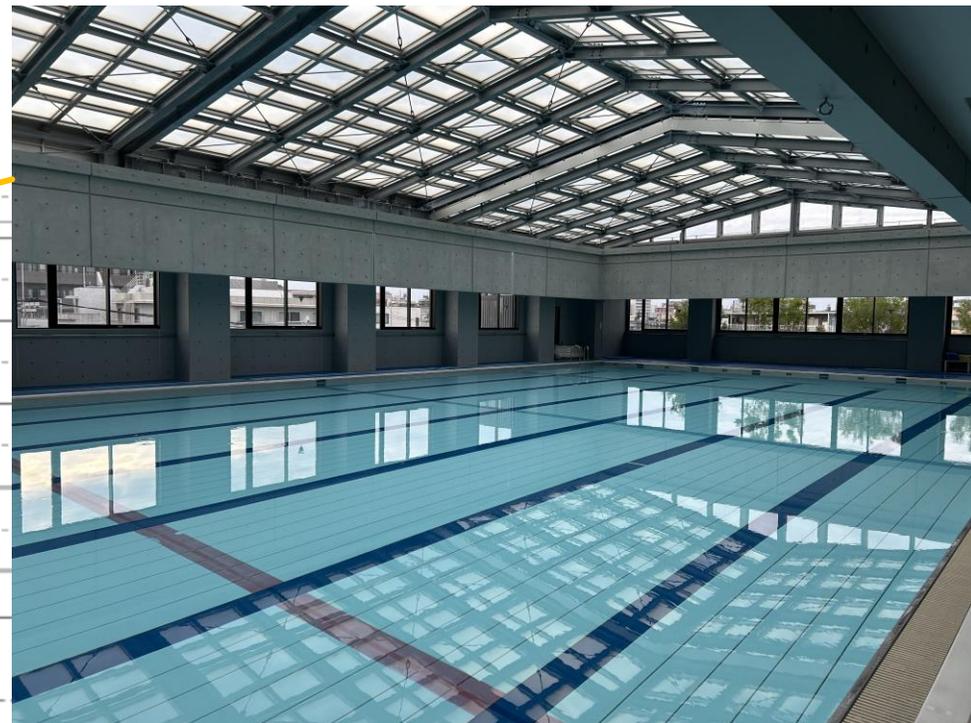
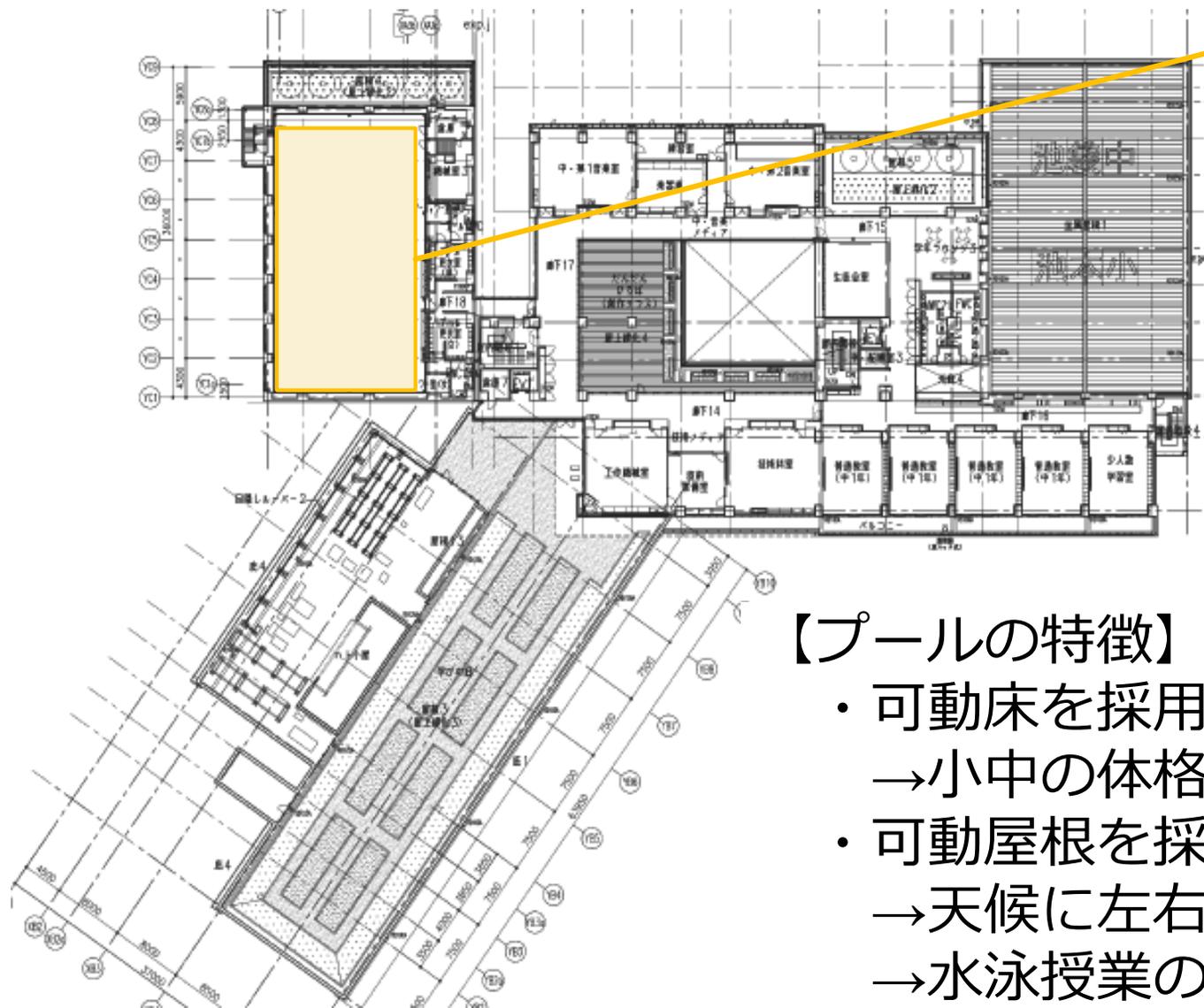
【職員室の特徴】
職員室前のスペースを広く確保する
ことで生徒と教員のコミュニケーションを
取りやすくしている

<共用部（学習情報センター）>



学習情報センター（図書館+ICT機能）
が小中共用となっている

<共用部 (プール) >



【プールの特徴】

- 可動床を採用
→小中の体格差に対応している
- 可動屋根を採用
→天候に左右されない授業運営ができる
→水泳授業の実施期間を長く取ることができる

<防災機能>

- ①マンホールトイレ
小中グラウンドに整備
- ②かまどベンチ
小グラウンドに整備
- ③防災井戸
外構部分に整備
- ④太陽光パネル
非常時の電源確保の補助として整備



マンホールトイレ
(赤枠部分)



かまどベンチ

<環境教育>

①学びの庭（屋上）

児童・生徒やPTAなどが植物や野菜などを育てている

②ビオトープ（小学校グラウンド）

豊かな緑と水が育む生態系を学習する場として整備



学びの庭



ビオトープ

<見学会での意見>

①よい点（場所）

- ・ 体育館が小中で分かれていること
→式典や部活動などの時間帯の調整を考慮すると小中共用にした場合のデメリットの方が大きいと感じる。
- ・ 中学校の普通教室前に設置してあるスペース
- ・ 小学校の教室内にあるクールダウンスペース
- ・ 小学校の教室と廊下が広く使える点
- ・ プールの可動屋根、可動床
- ・ 学習情報センターが小中各エリアからアクセス可能な点

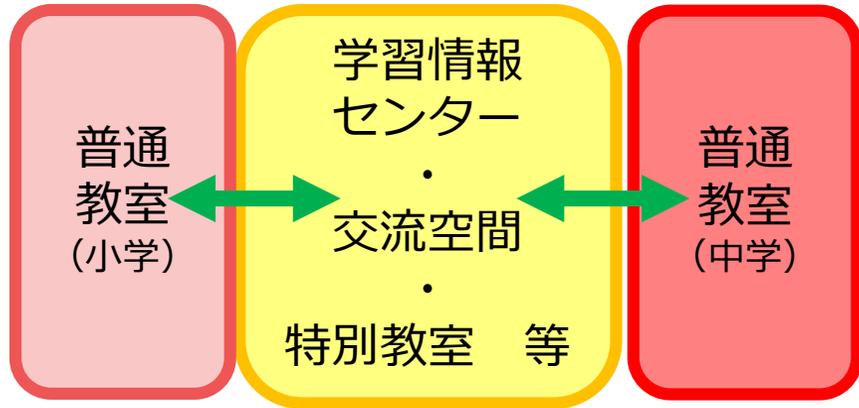
②改善点

- ・ 室内や廊下に角が多く、丸くすることで空間がやわらかくなる。

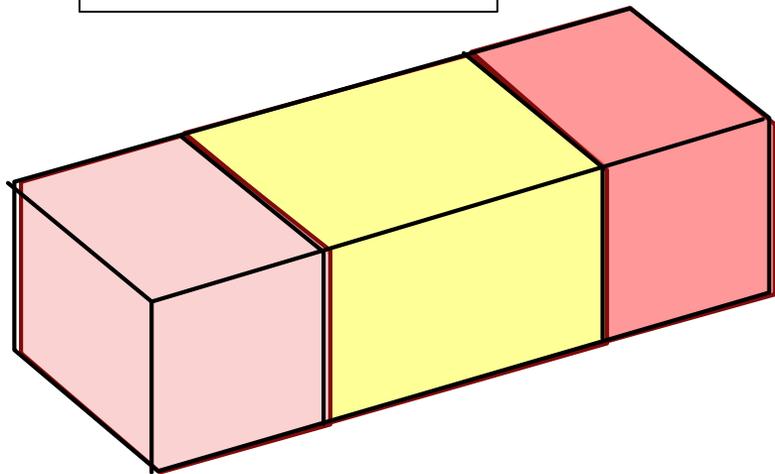
【参考資料⑤】小中の配置イメージ

＜小中の配置が同一階で共存するパターン①＞

平面イメージ



立体イメージ



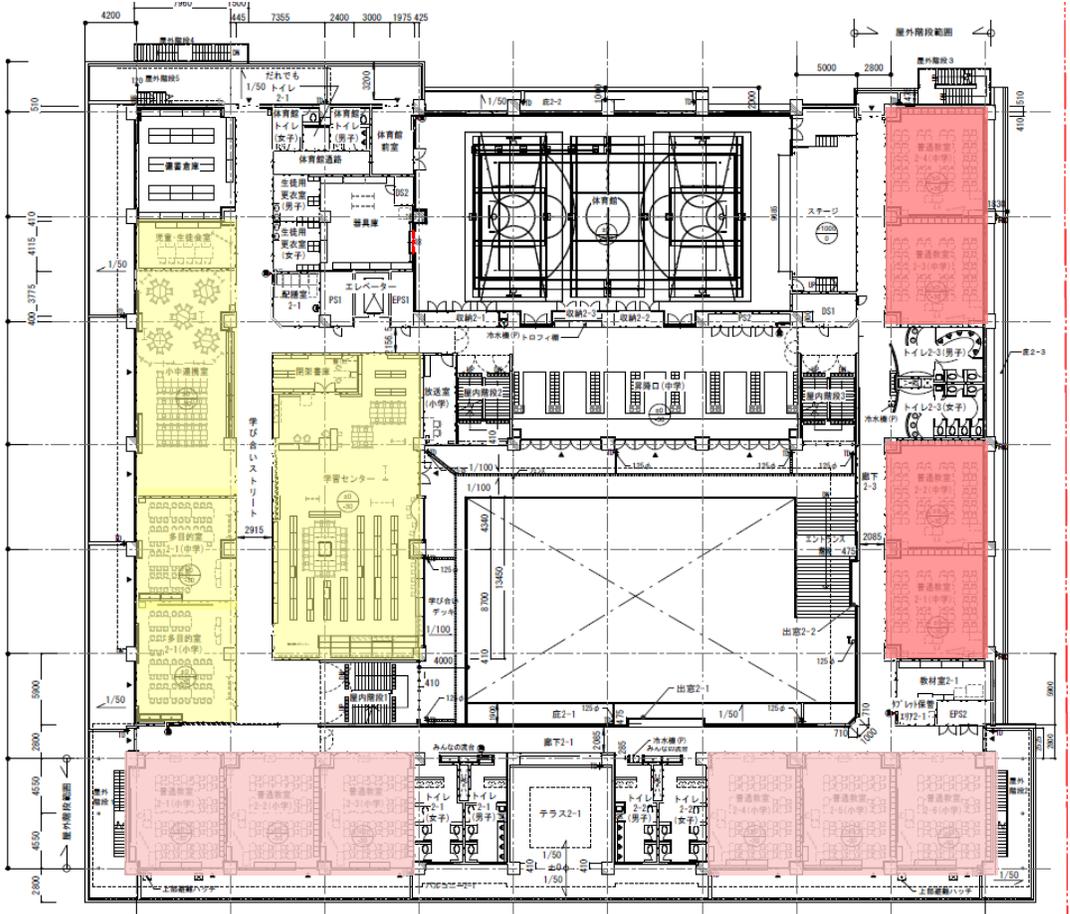
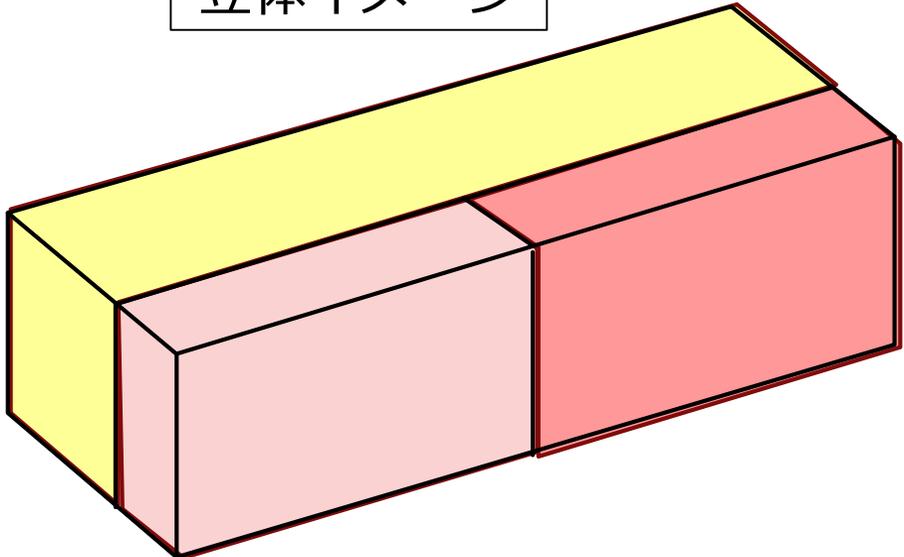
参考：豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校

<小中の配置が同一階で共存するパターン②>

平面イメージ



立体イメージ



(参考：葛飾区立高砂小学校・高砂中学校)

<小中の階を分けて整備するパターン>

平面イメージ

高層階

低層階

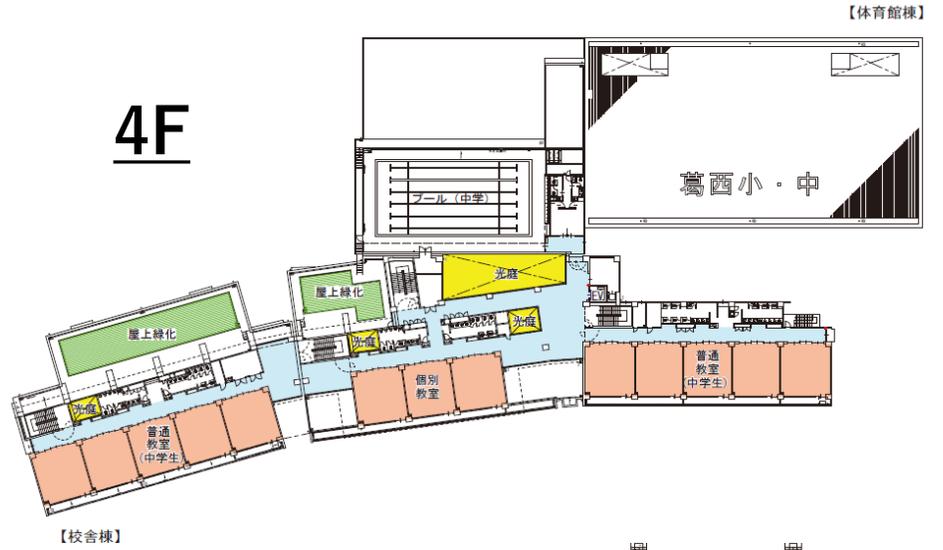
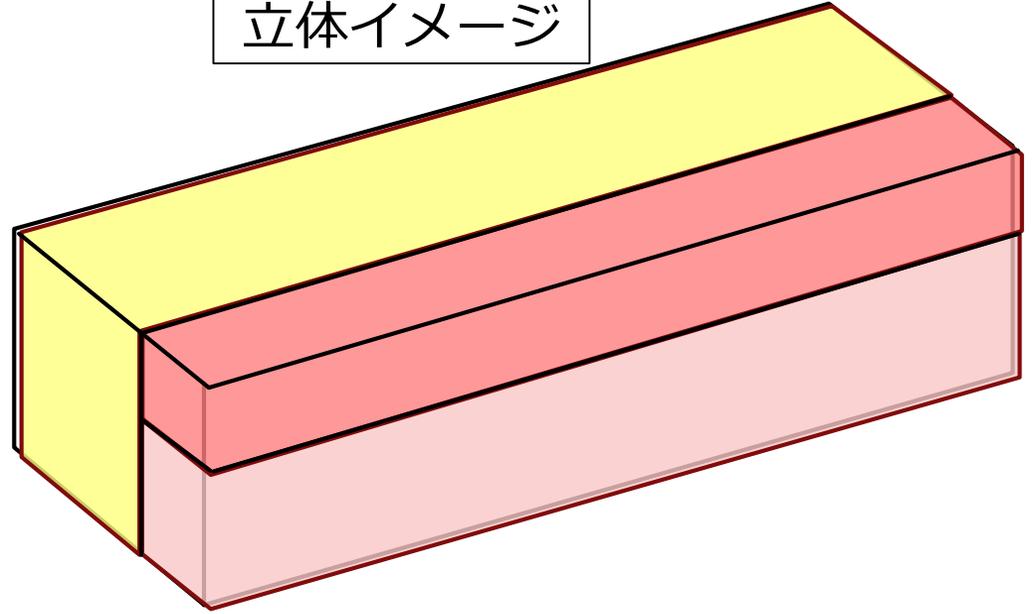
学習情報センター・
交流空間・特別教室 等

学習情報センター・
交流空間・特別教室 等

普通教室
(中学)

普通教室
(小学)

立体イメージ



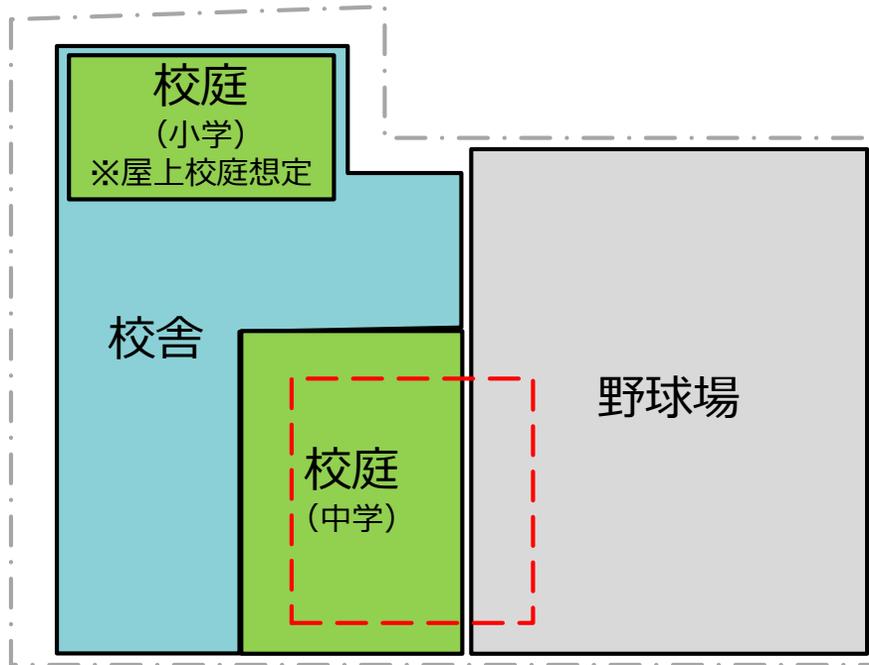
(参考：江戸川区立葛西小学校・葛西中学校)

【参考資料⑥】校舎とグラウンドの配置イメージ

＜校庭を小中2面確保するパターン（小学校屋上校庭想定）＞

配置イメージ（建物を上から見たイメージ）

【A案】



※赤点線ラインは地下雨水調整池を示す（上部建設不可）

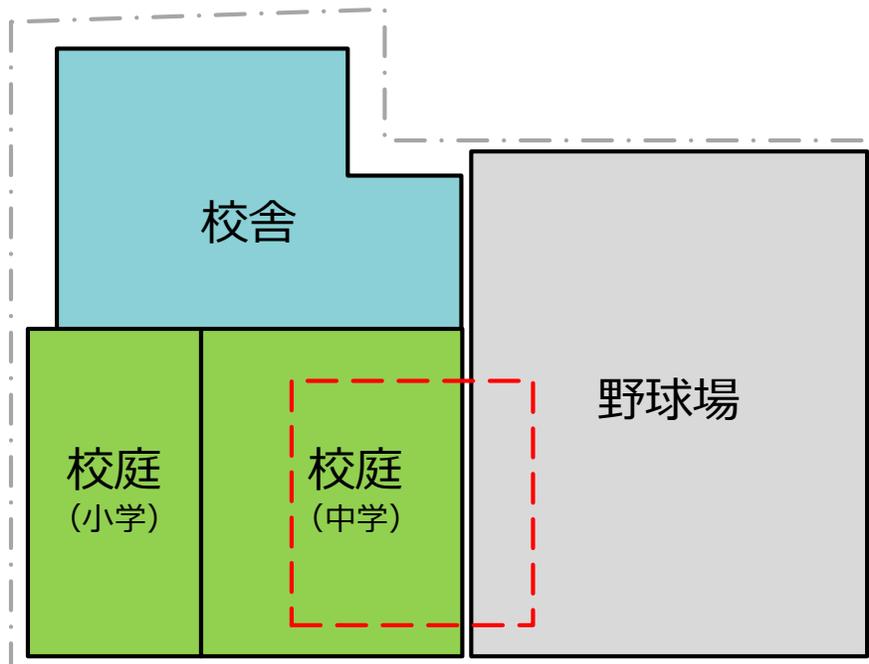
【A案】の特徴

- ・校庭を小学校と中学校の使用方法や体格差に合わせた運用ができる。
- ・小中の使用に適した校庭の仕様にする事ができる。
- ・B案と比較すると、低層になる。

<校庭を小中共用で広く確保するパターン>

配置イメージ（建物を上から見たイメージ）

【B案】



※赤点線ラインは地下雨水調整池を示す（上部建設不可）

【B案】の特徴

- 校庭を1面で広く確保することができる。
- 校庭について、小学校と中学校の使用方法や体格差に合わせた運営がしにくい。
- 小中で校庭の仕様を合わせなくてはいけない。
- A案と比較すると、高層になる。

【参考資料⑦】 池袋中学校ブロックについて（前回資料）

＜池袋中学校＞

●子どもたちの意識

小学生は、年上の先輩と活動することに対し、楽しいと感じている。

中学生は、小学生と一緒に活動し、小学生に頼られることに意義を感じている。

●連携に対する教職員の意識について

・池袋中学校と池袋本町小学校が一体化していることで、より池袋第一小学校を意識するようになった。

・池袋第一小学校が離れていることに対する不安はない。

●地域との連携

小中合同の挨拶運動や清掃活動に地域が参加したり、地域主宰の盆踊りなどのイベントに、学校が参加することで、地域で子どもたちを育てている。

<取組状況>

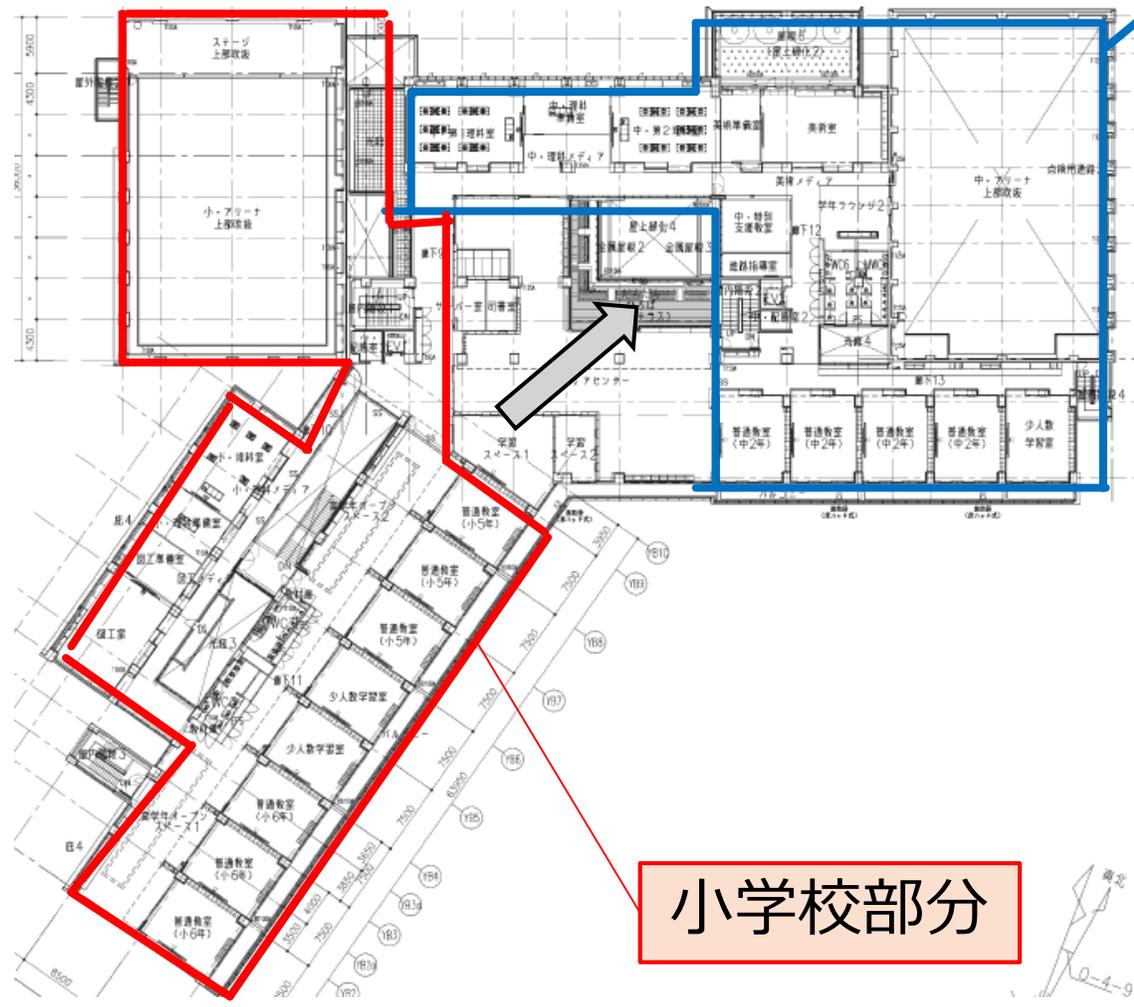
- オンラインの活用

オンラインで連携できる部分は、積極的に連携を行っている。

- 情報共有の徹底

池袋本町小学校と池袋中学校が合同で行うことは、必ず池袋第一小学校に共有し、連携の機会を平等にしている。

<施設面>



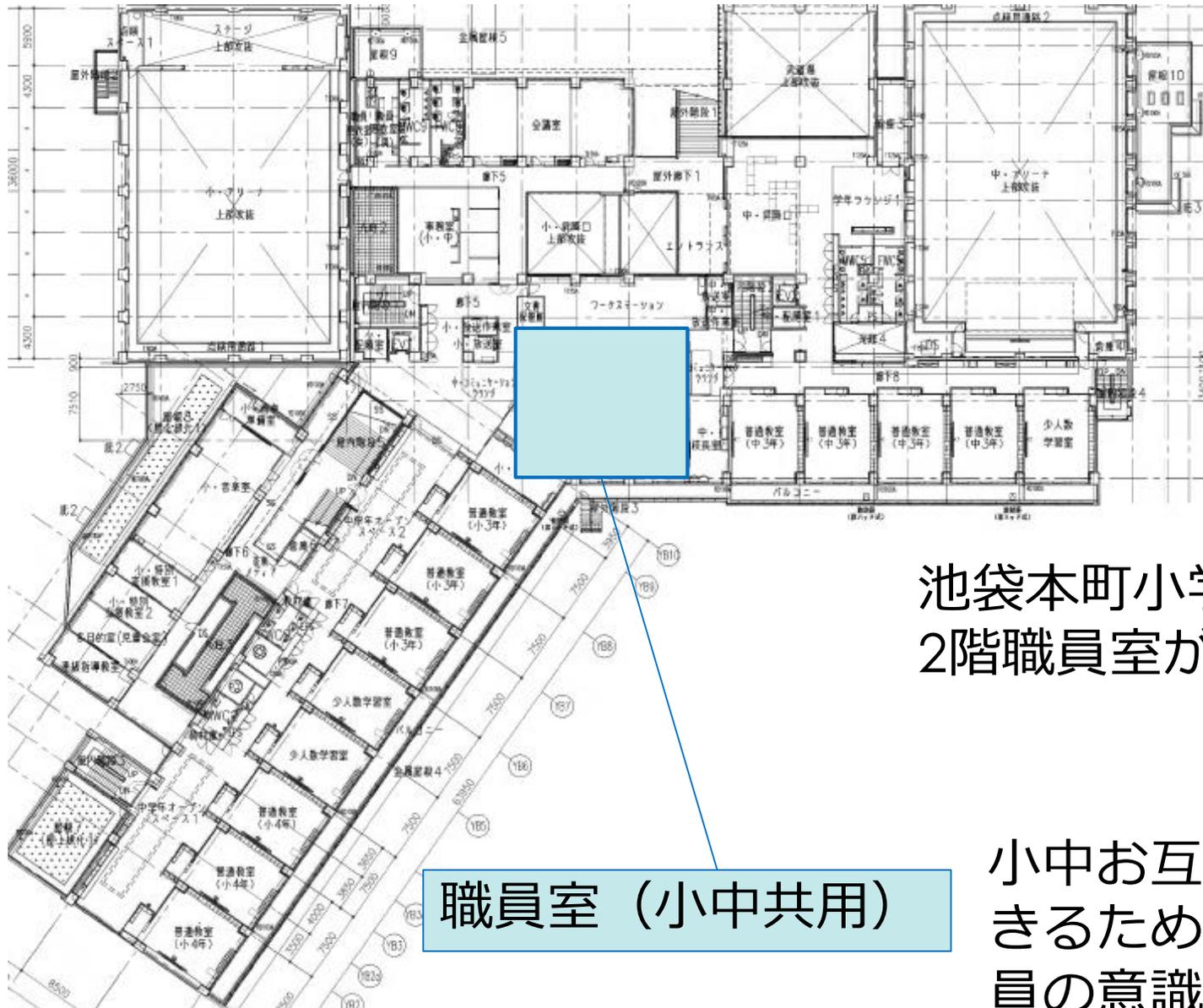
中学校部分

池袋本町小学校・池袋中学校小中連携校は、3・4階で小学校部分と中学校部分がつながっている



日常的に小学生が中学生を見て生活するため、中1ギャップの解消へつながる。

小学校部分



池袋本町小学校・池袋中学校小中連携校は、
2階職員室が小学校・中学校共用



小中お互いの指導風景を見ることが
できるため、相互理解へつながり、教職
員の意識変化にもつながっている。

<池袋第一小学校>

● 児童間の交流

- ・ 委員会活動を池袋本町小学校と合同で実施（実施方法：オンライン）
- ・ 避難訓練を合同で実施（オンラインで池袋本町小学校の避難訓練を確認）
- ・ 池袋本町小学校の作品展示

● 教員間の交流

- ・ 年間各校1回ずつ公開授業を実施。池袋本町小学校・池袋中学校の先生が公開授業を参観し、助言や意見交換を行う。
- ・ 3校合同で職員研修を実施。
- ・ 中学進学時に学力レベルに不均衡が生じないように、ICT活用能力の共有と平準化に取り組んでいる。

● その他

池袋第一小学校には、広い空間があり、連携する際にいつでも迎えることができる。